

今号の作業

マフラーを組み立てる②



今号では、前回の作業で仮組みしたマフラーにエキゾーストパイプを取り付け、2番マフラーを完成させる。前回の作業で確実にタップを立ててあれば、今回の作業はスムーズに行えるはずだ。

今号のパーツ



- ①エキゾーストパイプ2番×1
- ②ディフューザーパイプ×1
- ③コネクティングチューブB×2

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

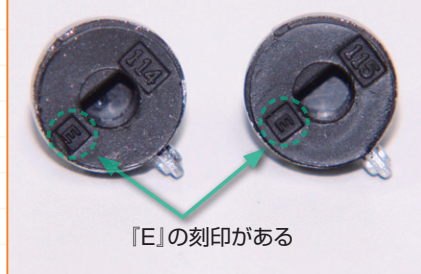
使用する道具

・+(プラス)ドライバー(1番)

用意するもの

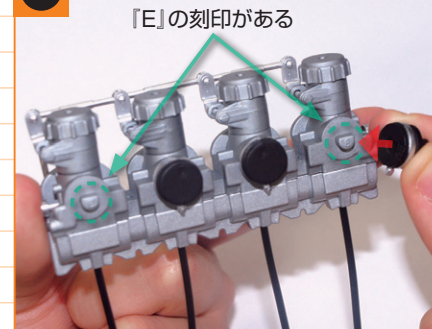
・キャブレター(14号で組み立てたもの)
・エキゾーストマフラー2番(14号で仮組みしたもの)
・ビス(Pタイプ/2.3×5mm)×4(14号で提供、保管しておいたもの)

STEP
1



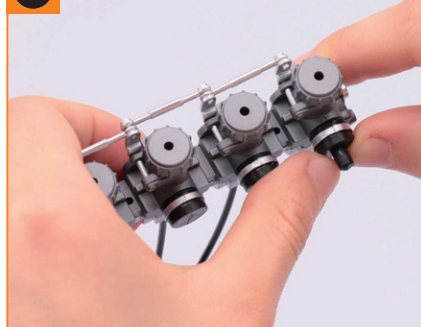
まず、③コネクティングチューブBの形状を確認しよう。片面には「D」字型の穴が設けられ、その下には「E」の刻印があるはずだ。なお、「114」「115」という数字の刻印はパーツ製造上の管理番号で、組み立てには関係ない。

STEP
2



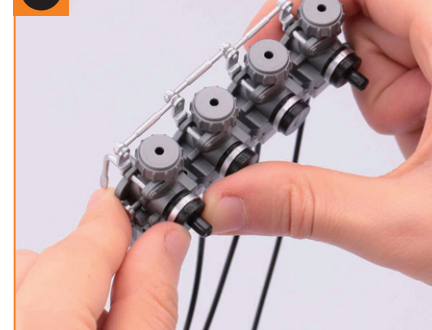
前回の作業で組み立てたキャブレターを用意し、コネクティングチューブBを、キャブレター背面に並んだ4本のピンのうち、両端の「E」の刻印があるピンをのどちらかにセットする。穴とピンの形状をしっかりと合わせよう。

STEP
3



ピンの形状と、コネクティングチューブBの穴を合わせたら、指先でコネクティングチューブBを押し込んで固定する。

STEP
4



②、③の工程と同じ手順で、もう1個のコネクティングチューブBをキャブレターのピンに取り付ける。



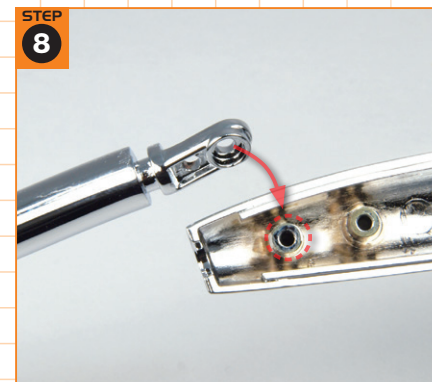
コネクティングチューブ4本の取り付けが完了したキャブレター。写真のように組み立てられているか、もう一度確認しておこう。



前回の作業で仮組みしたエキゾーストマフラー2番を用意し、マスキングテープをゆっくりとはがして、パーツを2つに分けておく。



①エキゾーストパイプ2番を用意し、先端にビス穴が開けられている側をチェックする。写真のように「D」の刻印があればOKだ。



エキゾーストマフラー2番・外側を用意して裏返す。細くなっている側の一番端にあるポストに、エキゾーストパイプ2番の取り付け部分をセットする。



エキゾーストパイプの取り付け部分にはリング状の突起が設けられているので、そこにポストの先端を確実にはめ込む。



Pタイプのビスを用意し、エキゾーストパイプのビス穴にセットする。



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかり締め込む。



次にエキゾーストマフラー2番・内側を用意し、取り付け位置の確認を行う。エキゾーストマフラー2番・内側には、3カ所のポストが用意されているので、そこにビス穴を合わせる。

STEP
13



ポストと取り付け位置を合わせて重ねたら、エキゾーストパイプを取り付けた側のビス穴にPタイプのビスをセットする。

STEP
14



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。

STEP
15



続いて、中央のビス穴にもPタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーで締め込む。

STEP
16



②ディフューザーパイプを用意し、マフラー後端の形状と照らし合わせてみよう。ディフューザーパイプの側面には窪みがあり、マフラー開口部の内側には突起があるので、この位置を合わせて差し込む。

STEP
17



ディフューザーパイプをマフラー開口部からまっすぐに押し込む。固くて押し込みにくい場合は、⑬で締め込んだPタイプのビスを少しだけ緩めよう。

STEP
18



マフラー後端のビス穴に、Pタイプのビスをセットする。上にあるビス穴は、1番マフラーとの連結用なので、間違えないよう注意すること。

STEP
19



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。⑬で中央のビスを緩めている場合は、この段階で締め込んでおこう。

今号の完成



今号の作業はこれで完了。マシンの左側面下側に装着される2番マフラーが完成した。その大きさと重量感から、完成したマシンの勇姿が想像できることだろう。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。